

論 說

委託研究の制度について

福 田 武 雄

わが國の工學と工業との關係、とくにそれが十分に緊密でなかつたこと、またその原因と結果等については、定年退職せられた瀧藤前所長が訣別講演(本誌4月號)で述べられ、またすでに各方面においてしばしば論議されてきたところである。この工學と工業とを結びつけるものは何か。それこそ“技術”——この言葉にはいろいろの觀念が含まれてゐるが、——であり、この意味における技術の研究と推進こそ、生産技術研究所の使命ではないかと筆者は考える。

この使命を達成するためには、われわれ研究者としては、單に自己満足的な研究に没頭すべきではなく、わが國の工業界が直面し、また要望する課題を解決することを目標としなければならない。このためには、工業界が要望し、あるいは要望すると思われるものを、われわれ自身が見付け出し、あるいは推測して研究を進めるのも一手段であるが、より効果的なのは、工業界によく接觸し、研究の委託をうけることである。このことは今までにもすでに行われてきたところである。すなわち、われわれ大學の教職にあるものがその本來の職務の合間に、外部から頼まれて種々の問題について研究してきた。これはまた、われわれが修得した知識を象牙の塔の中に閉じこめておかず、廣く國家社會のために役立たせるといふ意味において有意義なことでもである。しかし、その多くのものについては、研究費、謝金等はいわゆる公式のルートにはおらず、極言すればいわゆる内職であつて、そのためにいろいろの思わしくない弊害が生じやすかつた。この外部から委託の研究を、内職又はヤミ研究としてではなく、公式に實施するのが委託研究の制度であつて、これこそ生産技術研究所の使命達成上重要な、また欠くべからざる一手段であると考えられる。

しかし委託研究については、今後解決すべきいろいろの難點がある。その最大のものゝ研究費の經理に關する問題である。すなわち、委託研究費はすべて一旦國庫に收められてから、一般國費の歳出と同じ方法により支出され經理され、そのために、研究者が委託者から直接に研究費をもらう場合にくらべてあらゆる意味において極めて不便であること、研究に特にたずさわつた補助員に對しその特別の努力に對してはいくらかでも謝禮を出すのが人情でもありまた當然でもあるのに、法律に従えば特別の便法を講じない限り不可能であること、研究の遂行上補助員の採用が必要な場合にも公式には採用し得ないこと、委託研究費の豫算の總額が年度始めに定められていて、この豫算額に達すればいかに必要なものでも原則的には受託し得ないこと、會計年度にまたがるものについては、これを年度毎に區切らねばならないこと等々の幾多の不便がある。これらの不便があるために、ともすれば公式の委託研究にせずといわゆる内職的研究を好むことになるが、筆者としては、外部からの委託研究は、あくまでも公式の委託研究とし、上記の諸種の不便は、別の方法によつて明瞭に解決すべきであると考えられる。そのためには適當な外廓團體を合法的に作るが必要となつてくる。外廓團體については、いろいろの批判もあり、また弊害も伴うが、これを合法的に明瞭に運用すれば前記諸種の不便も解決され、また委託研究に伴つて生じてくる發明特許に關する問題も適法にかつ合理的に處理されるのではないかと考える。

生産技術研究所も、その發足以來すでに多數の委託研究を實施しておのおの成果を擧げているのは喜ばしきかぎりである。今後ともこれがますます盛んになり、これによつてわれわれ自身の研究を推進するとともに、國家社會に奉仕することができて、本研究所の使命が十分に達せられんことを切望する次第である。

第 3 卷

6 月 號 目 次

第 6 號

“委託研究”特集號

口 繪	赤レンガの新しい建築工法..... 1	現場コンクリートの強度試験..... 丸安隆利 24
	日活國際會館と委託研究..... 2~3	レンガ構造物の補強..... 坪井善勝 26
	生研式インクライターのいろいろ..... 4	赤レンガの新しい建築工法..... 田中一彦 29
論 說	委託研究の制度について..... 福田武雄... 5	隨 筆 委託研究..... 山邊武郎... 15
	技術の開拓 —研究委託の道しるべ—生研業務部... 6	技術史ノート 水道の歴史..... 飯田喜四郎... 34
特 集	生研式インクライター とその應用..... 糸川英夫... 8	速 報 19. ブラウン管型 超音波厚計..... 高木・丹羽・石井... 23
	新しい東京地下鐵建設工事 のための土質調査..... 三木五三郎... 16	20. 杉板の打撃による破壊... 岡本・佐藤 23
	建設工事現場に適した 歪測定装置の試作..... 岡本舜三 末 七郎... 20	生研ニュース・編集後記..... 36